

2006.3.20

# JRCA

Japanese Rally Championship Association **JRCA**

ご質問、お問い合わせは下記JRCA事務局へ。

## JRCA事務局

〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内1445-1

TEL. & FAX.046-877-0455

e-mail : info@jrca.gr.jp

<http://www.jrca.gr.jp/>

## SAFETY PLAN & MANUAL 作成ガイド

### 目次

#### 1 安全管理に関して重要な4つのポイント

#### 2 安全対策の知識

#### 3 機材・標識類の解説及び運用

#### 4 セーフティプラン内容例

- ①組織一覧及び各種連絡先
- ②データ上のイラスト例
- ③無線及び連絡系統プラン
- ④緊急時の連絡先及び対応マニュアル
- ⑤ラリー全体図(病院配置)
- ⑥各SS詳細図(マーシャル配置表)
- ⑦各SS詳細図(救急車両配置及び脱出経路・無線ポイント)
- ⑧各SS詳細図(枝道及び危険箇所把握)
- ⑨スペクテータ・セーフティマニュアル

#### 5 JRCAによるサポート



# はじめに

モータースポーツは常に『危険』を伴います。健全なスポーツであるためには万全の『安全性確保』が必要不可欠なのは言うまでもありません。ラリーは公道を使って争う競技ゆえその確保が非常に難しいモータースポーツといえます。救急体制に100%はありえませんが、もう一度考えてみれば現状で改善出来ることはたくさんあるはずです。

WRCを頂点とするラリーの長い歴史の中での多くの痛ましいアクシデントを経て、安全確保のノウハウがFIAの規則に反映されています。ラリーを開催するに当たり『セーフティプラン』というものを作成することを義務づけていますが、これによって救急体制や安全確保に手拔かりがないかをオーガナイザー自身が再確認できるとともに第三者からも一目でその体制がわかるようになっており、万が一の場合にスムーズな救急体制がとれるようにとしたものです。

当資料は全日本ラリー選手権等のオーガナイズイベントにおけるセーフティプラン作成の一助となるようにと企画されたものです。どのような考え方をすればよいのか、そしてそれをどう“かたち”にしていけばいいのか、最も完成度の高いFIAの安全規定を念頭に置きながら『セーフティプランの考え方』の部分を基本として編集しました。これを参考にして各オーガナイザーが『現状の最大限有効なな救急体制』を構築していただければと思います。

安全体制を考えるうえでもっとも重要なポイントは『事故が起きたときにいかに短時間で負傷者に適切な処置を施せるか』です。形式的ではなくこの大前提を常に意識したより“安全”にラリーを運営をお願いいたします。

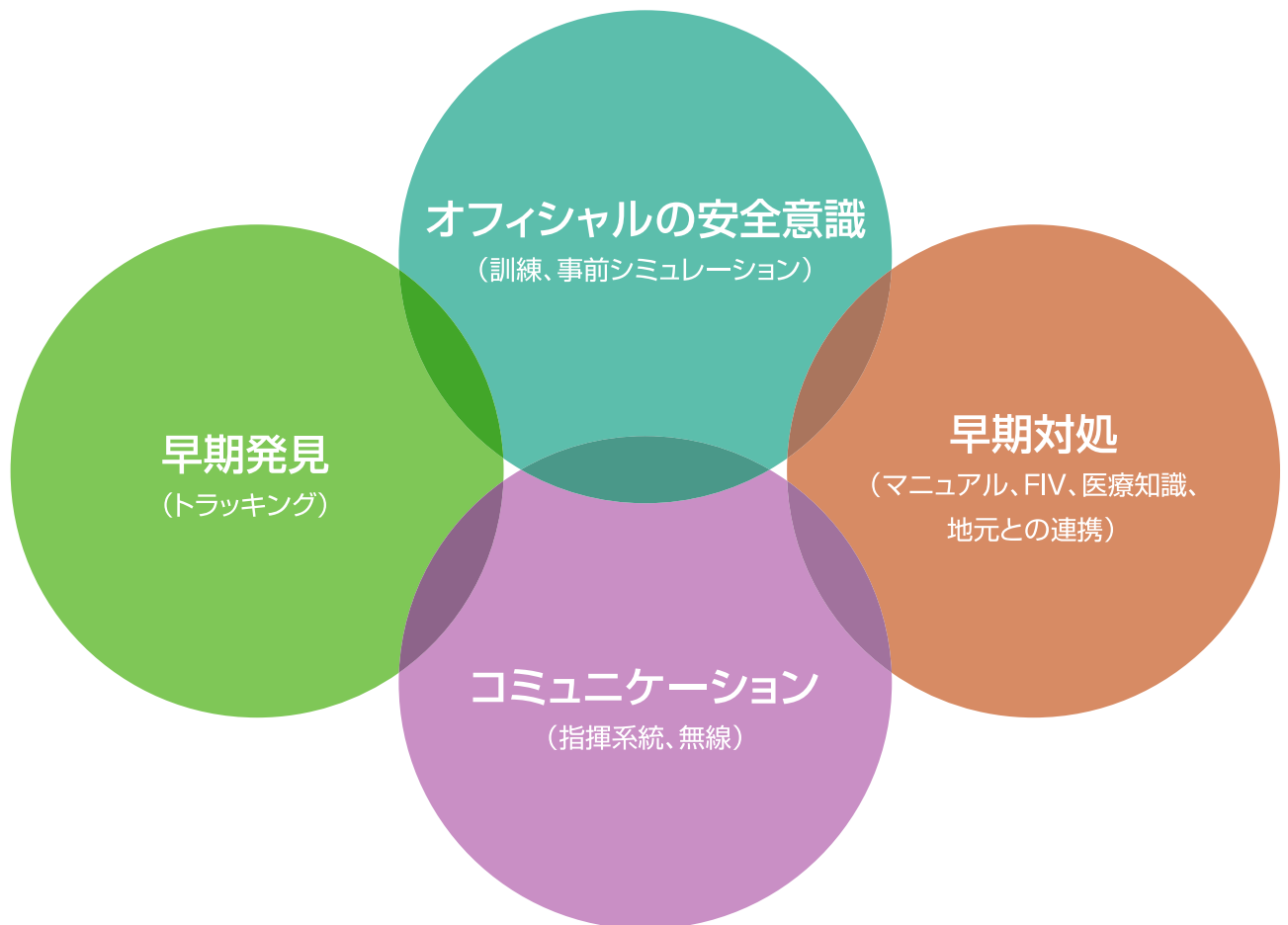
## 1

# 安全管理に関するの 重要なポイント

## 安全管理に重要なポイント4点～

『事故が起きたときにいかに短時間で負傷者に適切な処置を施せるか』は以下の4つの要素をどれだけ高いレベルでバランスよく機能させられるかで決まる。

本書では、これら4要素の基本的な考え方を述べると同時に、どうすれば4要素をうまくリンクして効率よく機能させられるかという体制作り=セーフティプラン作成の手引きをガイドする。



## 2 安全対策における実際の考え方

### ①オフィシャルの安全意識（訓練、事前シミュレーション）

#### A 安全に関する指導・啓蒙（責任者、クラブ員指導）

緊急事態を想定した機材・システム・マニュアルの整備は必要不可欠だが、それ以前にスタッフ関係者全員がこれらの主旨・システムを理解して効率よく運用する必要がある。主催者は組織図の作成とともに責任者の所在を明確にし、各オフィシャル担当員にシステムの十分な説明およびシミュレーションを実施することが求められる。またLSOなど救急に関する講習において救急医療の概念や処置を学んでおくことも、実際の実技をマスターするだけでなく、安全意識の向上にも大きく寄与する。このような資格者をオーガナイザー内に置いたり、少しでも多くのスタッフが講習において知識を学ぶことは、オーガナイズ全体のレベルアップにもつながる。JRCAはLSO会員であるため、LSOによる講習会を開催するサポートを行っている。（巻末参照）

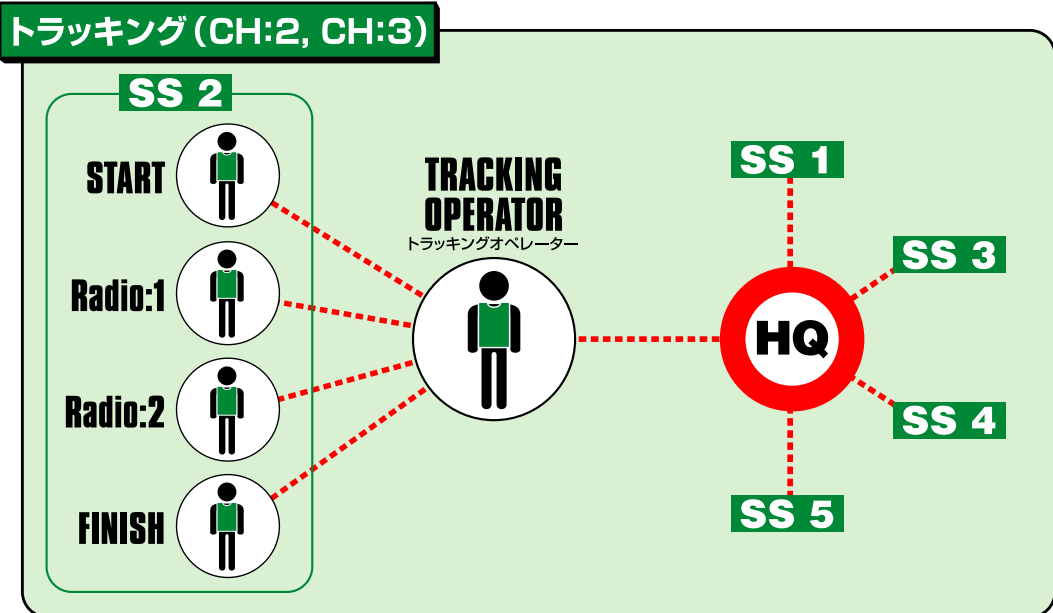
#### B セフティプランの運用

ラリー開催時は、「セフティプラン」をスタッフ全員に配布してよく理解させたうえで、責任者・指揮系統・緊急時の対処を確認し共通意識を持つようにする。救急時のシステムに関する解説、医師の紹介及び配置場所も、ドライバーズブリーフィング時にエントラントへ十分な説明を行う。こうすることで、緊急時にオーガナイザーとエントラントがうまく連携し、スムーズに事態収集に当たることができる。

## ② 早期発見 (トラッキング)

トラッキングとは無線等を利用した各競技車の通過確認システムのことであるが、「通過」ではなく「時間的な異常事態」を早期発見することが主目的である。このシステムをきめ細かく構築することで事故発生を早期に発見することができ、従って事故に対する早期対処を可能にすることができる。反対にこのシステムの構築が無い場合は事故の発見が遅れ、被害を大きくすることがありうる。重要なのはトラッキングの実施と同時に事故発生時の対処マニュアルを、事前に十分確立しておく必要があることである。

トラッキングがラリー進行の前提となるので、無線系統を指示系統や緊急系統と分けておくのが理想。比較的短いSSでラジオポイントで両者を行う場合もトラッキングと指示&緊急は無線チャンネルを分けておくことが望ましい。



### ③ 早期対処（マニュアル、FIV、医療知識、地元との連携）

#### A セーフティプランの作成

セーフティプランはラリーがすべての面で安全に行われるためのガイドであり、それと同時に事故が発生したときに処理を素早くスムーズにして被害を最小限に食い止めるために有効な手引きである。どのラリーにおいても、ラリーの概要をすべて網羅したセーフティプランを作成する必要がある。このプランは非常時においても誰もが容易に運用できるものでなければならず、かつ関係者外の人間でも容易に理解できるものでなければならない。セーフティプランは主に「緊急時の連絡系統」「緊急時の判断・行動」「ステージ詳細情報」の3つからなる。

#### B 緊急連絡時の統一解釈

緊急時に迅速・的確な行動をするため、どういうときに競技を（SSスタートを）一時中止したりSSをキャンセルするのか、競技進行に関するマニュアルを整備しておく必要がある。また、軽微な事故と重大な事故に分類して、その判別基準および連絡系統をわかりやすく示唆しておく。

（「緊急時の対応～負傷に関する統一解釈」参照）

#### C 地元との連携～病院および救急ヘリ【→搬送体制】の万全【→確保】

大事故には必ずや地元病院、消防の協力が必要になってくる。そのためすべての医療処置を行うことの出来る総合病院との連携は非常に重要となる。この際、病院のロケーションだけでなく事前に病院側と綿密な打ち合わせを行い、ラリー当日に該当担当医が在籍するのか、また適切な救急医療処置が可能かどうかの確認と、それを受け入れてもらう承認を得ておく必要がある。同時に該当地域の広域消防署との打ち合わせも重要となる。大事故発生時に救急車および救急ヘリの出動を速やかにするためである。救急車および救急ヘリのどちらに関してもSS付近のミーティングポイント（合流地点）を事前に打ち合わせておく必要がある。当然のことながらこれら病院・広域消防署のいずれに対してもラリーの詳細説明は必要不可欠といえる。

### ③早期対処（マニュアル、FIV、医療知識、地元との連携）

#### D 医療知識のあるスタッフの配備

ステージには自動車事故による事故・負傷に対して適切な処置をとることのできる知識と経験を持った医師・看護師の配置が必要である。当然のことながらラリーのシステム及びセーフティマニュアルを理解した医師・看護師が望ましい。通常の事故は車両破損によるレスキューの必要性を併発するケースが多いため、事故処理に精通したオフィシャルと一緒に行動することが望ましい。配置の医師・看護師（または車両）には医療器具の携帯が必要となる（JRCAからも貸与可能）。

#### E 緊急車両の配備

FIVとは緊急時に現場に素早く到着し正確な状況把握をすることを第一目的とする。したがってスタート地点（または中継地点）から順走方向で素早く出動できることが求められ、2台以上あったほうが、疑わしい状況時には確認頻度も上げることができる。この車両には初期処置ができるだけのスタッフと機材を搭載することが望まれる。（各車の理想的な搭載機材に関しては巻末資料参照）

救急車は可能な限り十分な救急医療設備を備えた車両が望ましいが、けが人を適切早急に医療設備のあるところまで搬送することを第一目的とする。救急車・FIVはスタートより約10km毎に配置されることが望ましいが、その配置場所は枝道等の搬出経路があることが求められる。いずれの車両のドライバーも速やかに対応が可能となるようSS及びラリー開催地域に精通している人間が望ましい。

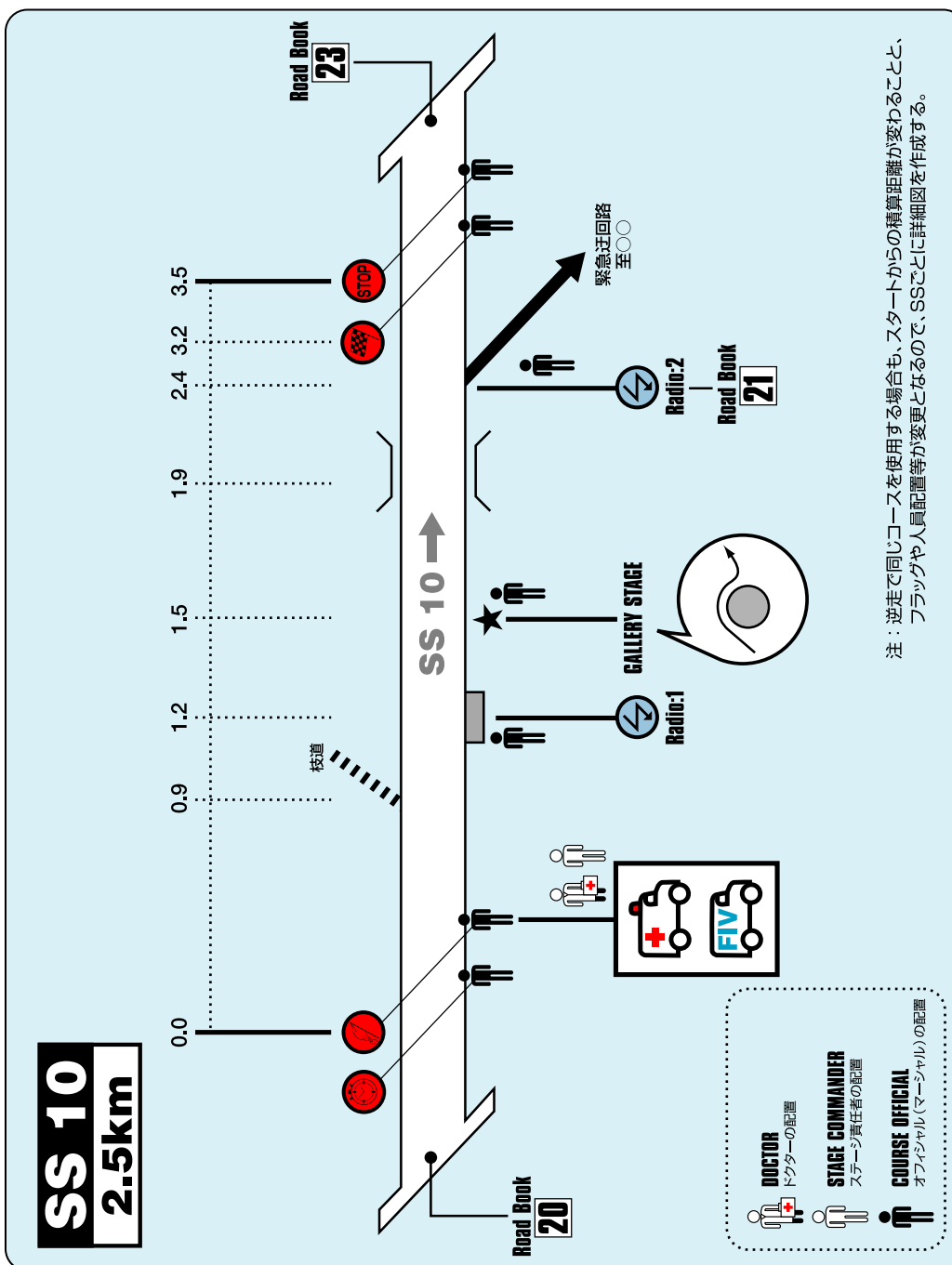
これら各車両の配置（特にFIV）に関しては、SSを逆送することなく現場に急行できる配置が望ましい。

③早期対処 (マニュアル、FIV、医療知識、地元との連携)

**F** SSの詳細情報

万が一の時に状況を把握しやすいよう、またオフィシャル間で情報を正確に共有しやすいようSSの詳細情報(ラジオポイント、救急車両配置、枝道、人員配置)資料を作成しておくのが望ましい。競技責任者はSS設定時にアクシデントが起こりそうな危険箇所はあらかじめ予想しておくこともアクシデント発生時の処置に有効であろう。

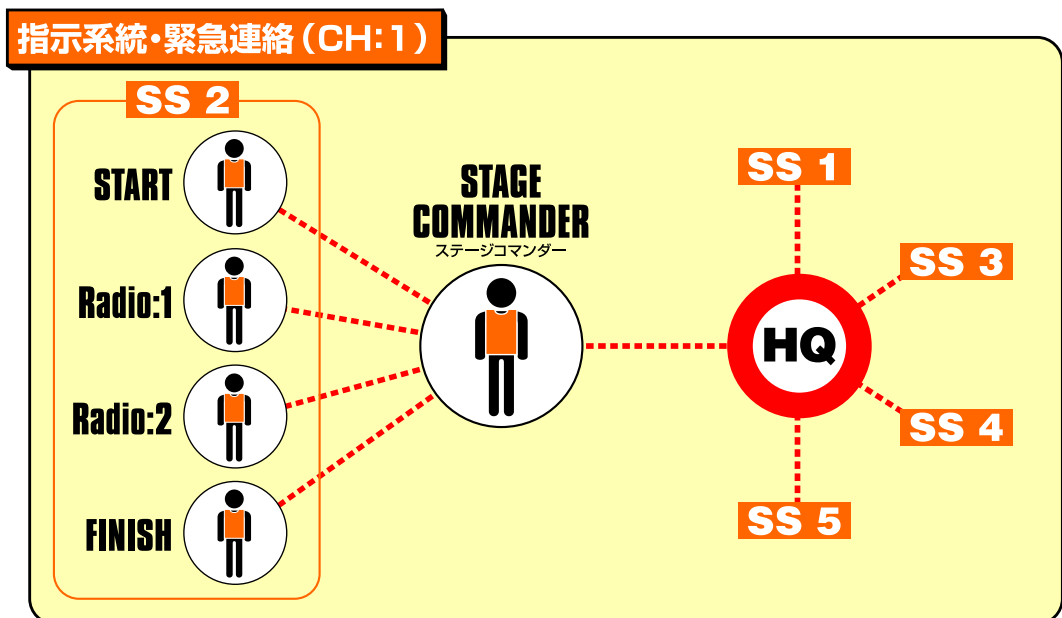
全日本ラリー等で比較的多い短い距離のSSの場合の詳細図例。  
緊急時の発生場所(x.xkm地点)、各オフィシャル配置の確認や黄旗提示指示、救出時に使用します。





## ④ コミュニケーション（指揮系統、連絡系統）

「②早期発見」および「③早期対処」を有効に機能させ、安全を成立させるためにもっとも必要なものの一つが連絡系統である。無線または有線によってすべてのステージとHQの連絡が行える状態は必須である。この情報系統にはいかなる状況においても不通にならないような配慮が必要である。それと同時に組織の構築も重要である。必要な情報を素早く指揮系統に伝え、またそこからの指揮が素早く現場に伝わるようなシステムが求められる。



## ⑤ その他

### ギャラリーの安全

ギャラリーステージを設ける場合は、安全のためギャラリー場所の責任者、配地図、案内表示等の設備を十分に設置することが必要である。同時に各ギャラリーに「安全に観戦する手引き」等を配布するなどしてギャラリー各自の安全意識の啓蒙活動も求められる。場合によってはギャラリーに怪我人や病人が出た場合も想定して、医師や看護師の手配をすることも考える必要がある。

# 3

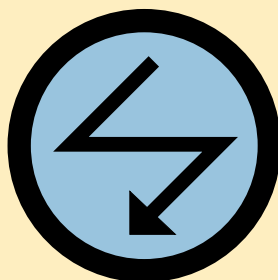
## 機材・標識類の解説及び運用

緊急時に対応するためのツールや設備は、関わる立場によってさまざまに運用されなければならない。  
 ドライバーズブリーフィングやオフィシャルミーティングで運用方法の徹底が不可欠。

### 1 SOS/OKサイン

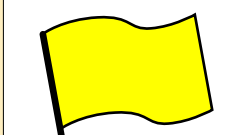
|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
|  | <p><b>通過してよい時はOKサイン</b><br/>                 (サインが紛失の場合の<br/>                 ○印の合図などは<br/>                 ブリーフィングで徹底)</p> |   | <p><b>負傷者がいて後続を<br/>                 停止させる場合</b><br/>                 (サインが紛失の場合の<br/>                 ×印の合図などは<br/>                 ブリーフィングで徹底)</p> |
|  |   |  |  |

### 2 ラジオポイント

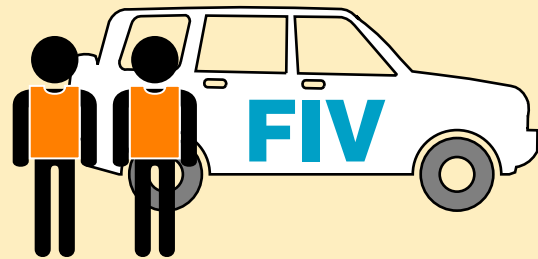
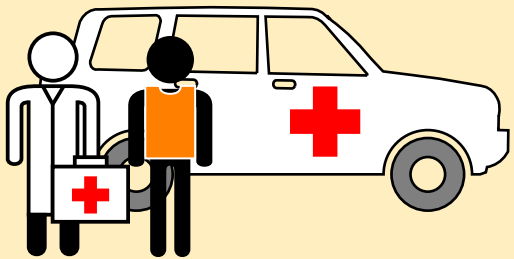


**ラジオポイント標識**

- ラジオポイントはロードブックコマ図に必ず明記し、レッキの段階で位置を各クルーがあらかじめ確認できるようにすること。
- ラジオポイントは「無線が配備してある場所」という意味で、通常はここにトラッキング係員、コース要員が待機しています。コース上でトラブルが発生した場合も、後続車はまずここまで来て報告します。
- イエローフラッグが提示されるのもラジオポイントです。ここにはイエローフラッグが必ず常備され、またクルーもここでイエローフラッグの提示がされていないかの注意が必要となります。



### 3 FIV/救急車

|   |  |
|---|--|
|  |  |
| <p><b>FIV</b> 火災対応、救出を行う車両。<br/>                 オフィシャル2名で各種機材を積む。</p>              | <p><b>Doctor Car/MV</b> 医師と運転手および<br/>                 負傷者を搬送できる車両</p>               |

# 4 セーフティプラン作成例

## 1 目次

【主旨】 目的のページにすぐに飛べるようにする。

**POINT** 見出し的に細分化しておくほうがよい。

## 2 アイテナリ

【主旨】 安全のため全員が時間進行を把握する。

**POINT 1** ラリー進行のすべてである時間スケジュールを明確化する。

**POINT 2** アイテナリだけでなく、大会進行のスケジュールも網羅する。

## 3 組織図・連絡先

【主旨】 ラリー中の緊急連絡をスムーズにするため。

**POINT 1** 組織図による指示系統の明確化。

**POINT 2** 病院および消防関連各所の連絡先を明示。

**POINT 3** 図解による緊急網の全体把握。

## 4 緊急時の対応～負傷に関する統一解釈

【主旨】 緊急時に迅速・的確な行動をするため。

**POINT** 軽微な事故と重大な事故に分類してその判別基準および連絡系統を示唆する。

## 5 コース全体図（配置・病院・連絡先）

【主旨】 緊急時に迅速・的確な行動をするため。

**POINT 1** 全SS（またはレグごとのSS）のロケーションを  
広域地図にて全体把握。

**POINT 2** 病院位置や搬送経路及びミーティングポイント等を明示。

**POINT 3** HQ位置も明示。

## ❖ セーフティプラン作成例

### 6 各ステージの詳細図1（白地図上へ表現）

【主旨】 緊急時に迅速・的確に全体像を掴むため。

- POINT 1** SSがどのようなロケーションに存在するか、実際の白地図上に表現。
- POINT 2** TC,スタート、フィニッシュ及びラジオポイント、ギャラリーステージ、救急車/FIVの配置、ヘリポート等を表現。
- POINT 3** 重要なポイントや救急車等緊急車両の脱出経路を視覚的にすばやく確認できるようにする。

### 7 各ステージの詳細図2（簡略図）

【主旨】 SS内のすべての情報を正確に把握するため。

- POINT 1** 主にSSの詳細状況を管理。状況を把握するために簡略図を用いる。
- POINT 2** SS内の詳細情報をスタート地点からの距離を併用して表現する。
- POINT 3** すべての枝道の状況及びすべてのコースマーシャルの配置及びラジオチャンネルの情報も表現。

### 8 連絡系統図2（全体）

【主旨】 ラリー中の緊急連絡をスムーズにするため。

- POINT 1** 有線/無線によるHQとSS及びその他セクションとの通信状況を把握。
- POINT 2** ラジオチャンネルだけでなく各担当及び責任者等の情報も必要。

### 9 ギャラリー配置図

【主旨】 ギャラリーの安全管理のため。

- POINT 1** ギャラリーステージのロケーション及び詳細配置図（拡大地図）。
- POINT 2** 管理マーシャルの配置や各種設備の場所を表現。
- POINT 3** 事前のプランと当日の現場判断に格差がでることを防ぐ。

◆ セーフティプラン作成例



FOREST RALLY  

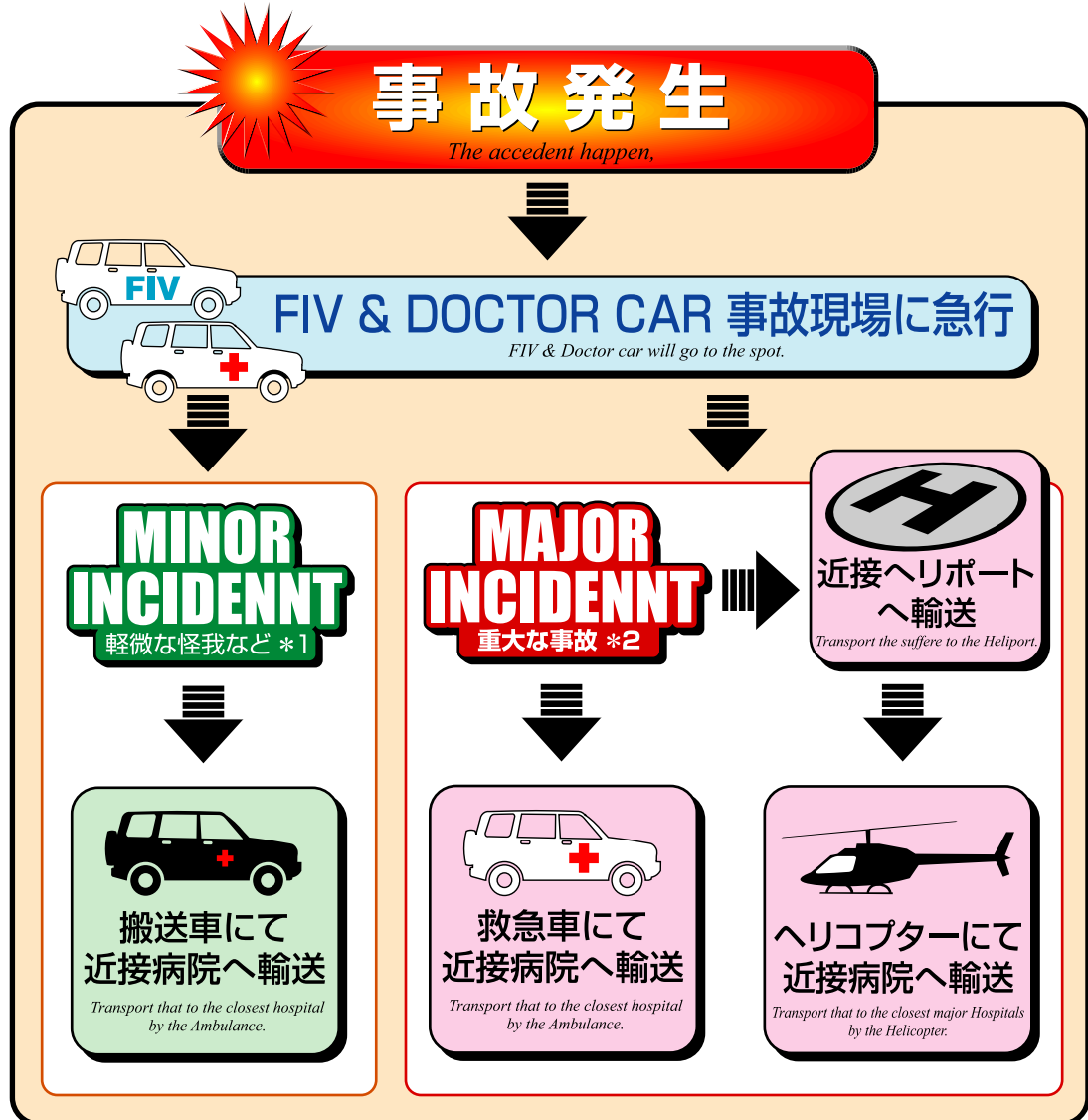
---

SAFETY PLAN

❖ セーフティプラン作成例

# 事故発生時の手順

The Procedures at the Scene of Incident



**MINOR INCIDENT**

(\*1 軽微な怪我など)

横転やコース逸脱などクルーの命に深刻でない程度の事故。

**MAJOR INCIDENT**

(\*2 重大な事故)

転落やひどいクラッシュ等で、クルーの命にかかわる恐れのある事故。

## ◆ セーフティプラン作成例

# FIVによる救急連絡時 症状の統一解釈



FIVから各関係セクションに連絡する際には下記のレベル設定を使い連絡する。  
レベルに応じたその後の競技進行を決定する。

**LEVEL 0** 「ケガ人なし」  
#レベル 0

**LEVEL 1** 「病院必要なし」  
#レベル 1  
負傷したが打撲、切り傷程度。すぐに何かする必要なし。バンドエイド、サロンパス程度。  
車がOKなら競技に戻ってよい。

**LEVEL 2** 「あとで病院」  
#レベル 2  
消毒、縫合などの医療行為が必要だが半日待っても良い。競技はすぐ再開。  
全車通過を待って追い上げと一緒にコースを出てオフィシャルの車で病院へ。  
自走できれば自分の車で良い。

**LEVEL 3** 「オフィシャルの車で病院」  
#レベル 3  
病院でレントゲン検査などが必要。  
“痛い痛い”と騒いでいる。“ウーウー”と唸<sup>うな</sup>っていて苦しうだが、自分で歩ける。  
車の後部座席に横になってオフィシャルと一緒に病院へ。

**LEVEL 4** 「救急車必要」  
#レベル 4  
自分で歩けない。呼びかけても朦朧<sup>もろろ</sup>としている。すごく苦しう。  
“痛い痛い”ばかりで会話が成立しない。  
あるいは、意識はしっかりしているが手足が動かない。あるいは痺<sup>しび</sup>れている。

**LEVEL 5** 「命が危ないかもしれない」  
#レベル 5  
その場ですぐ治療、その他のDRにも必要なら集合してもらう。  
救急車にコースに入ってきてもらう。DR同乗で病院へ。  
この場合、病院での治療を手伝うことになるかもしれない。  
あるいは、近い病院よりも「3次救急（ERみたいところ。普通の救急病院は、  
当直医は普通一人）へ搬送の可能性もある。



**レベル 1 & 2** FIVのスタートへの到着を待ち、ステージコマンダーはHQへ連絡とともに競技を再開する。

**レベル 3** FIVもしくは代理の車両をスタート地点へ配置後、競技長の判断により競技を再開。

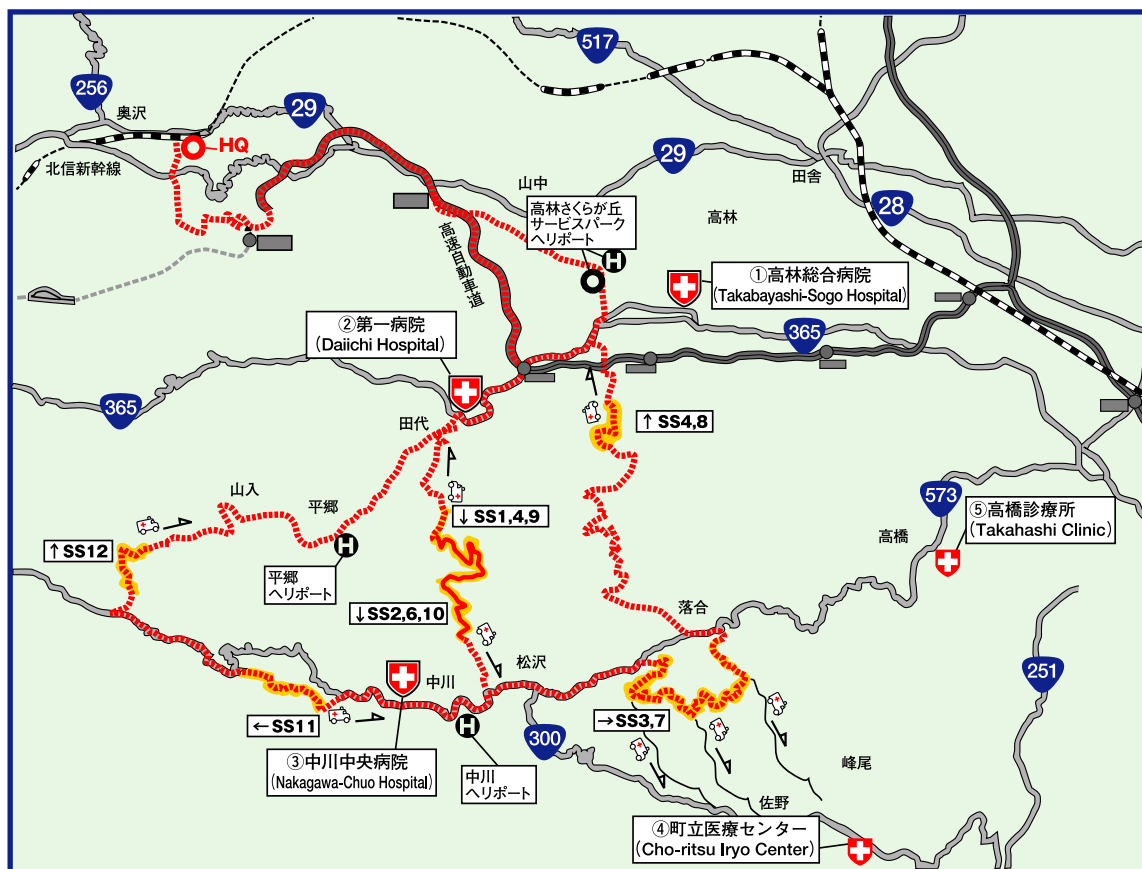
**レベル 4 & 5** けが人の対処を最優先とし行動する。その後の競技進行は競技長および審査委員会にて判断。

❖ セーフティプラン作成例

# ラリー全体図



## 第1回 インターナショナル・フォレストラリー Leg 1 6月11日(土)



### 広域消防署

- 高林広域消防本部      高林市〇〇町00-00      TEL.0000-00-0000
- 中川広域消防本部      中川町〇〇00-00      TEL.0000-00-0000

### 病院住所一覧

- 高林総合病院      高林市〇〇町00-00      TEL.0000-00-0000
- 第一病院      高林市〇〇町00-00      TEL.0000-00-0000
- 中川中央病院      中川町〇〇00-00      TEL.0000-00-0000
- 町立医療センター      中川町〇〇00-00      TEL.0000-00-0000
- 高橋診療所      中川町〇〇00-00      TEL.0000-00-0000



◆ セーフティプラン作成例

各SS配置 管轄警察・消防・病院情報



**SS1, 4, 9 中川林道**  
Nakagawa

|         |        |             |                  |      |
|---------|--------|-------------|------------------|------|
| 所轄警察署   | 高林警察署  | 高林市〇〇町00-00 | TEL.0000-00-0000 | 〇〇署長 |
| 所轄消防署   | 高林消防署  | 高林市〇〇町00-00 | TEL.0000-00-0000 | 〇〇署長 |
| 救急病院 1次 | 高林総合病院 | 高林市〇〇町00-00 | TEL.0000-00-0000 |      |
| 救急病院 2次 | 第一病院   | 高林市〇〇町00-00 | TEL.0000-00-0000 |      |
| 救急病院 3次 | 中川中央病院 | 中川町〇〇00-00  | TEL.0000-00-0000 |      |

|  |                           |
|--|---------------------------|
| 救急車要請 連絡先  | 高林消防署 <b>0123-45-6789</b> |
|  | 高林市〇〇町00-00               |
| 連絡時の対応   |                           |
| <p>※消防署への救急車要請の判断は、FIVドクターのみが行う。</p> <p>※ドクターはステージコマンダーに救急車要請を依頼し、必ずステージコマンダーもしくはその要請を受けた代理者が連絡すること。</p> <p>※消防署への連絡は119番ではなく、上記消防連絡先へ電話する。また、下記の内容を的確に連絡する。</p> |                           |

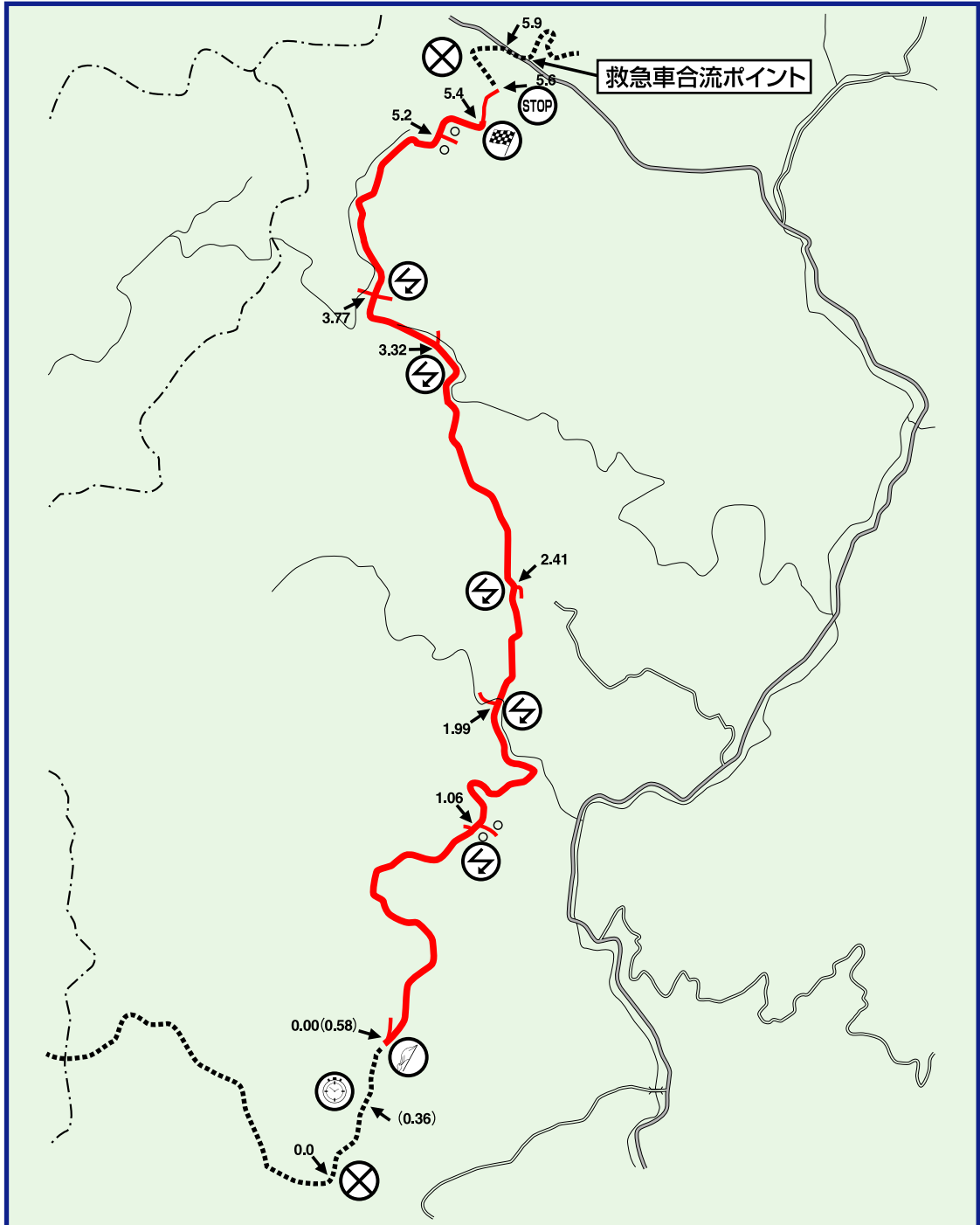
|           |  |
|-----------|--|
| 消防署への通報要領 | ① 〇〇スポーツカークラブの〇〇と申します。   |
|           | ② 本日常クラブで開催中のラリー競技で人が発生したため、救急車を依頼します。                         |
|           | ③ 患者は〇〇歳、男性(女性)で... (例) ラリー中、コースから転落し右足を骨折しております。              |
|           | ④ 場所は県道〇〇〇号線、松沢部落から田代方面に抜ける林道中川線です。                            |
|           | ⑤ 事前に打ち合わせしました、松沢部落の中川・大沢林道の合流地点にて<br>〇〇が誘導いたしますのでそちらまで来てください。 |
|           | ⑥ なお、近辺で連絡が取れますのは、090-1234-5678 〇〇と申します。                       |

◆ セーフティプラン作成例

● ステージ詳細図



SS1, 4, 9 中川林道 Nakagawa 5.83km

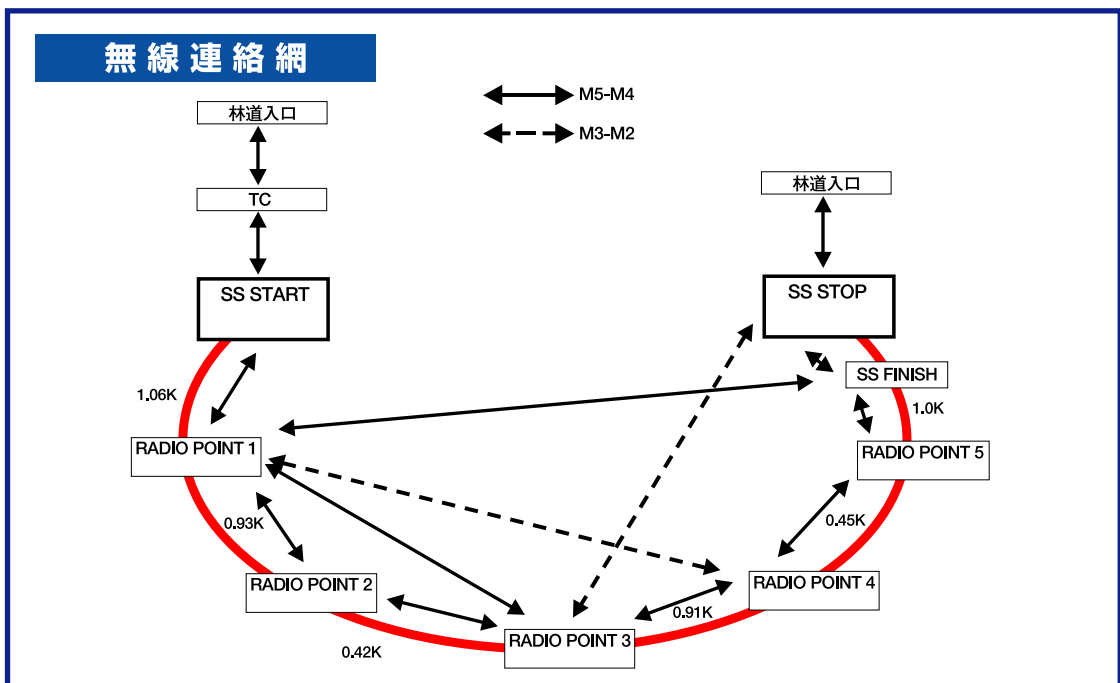
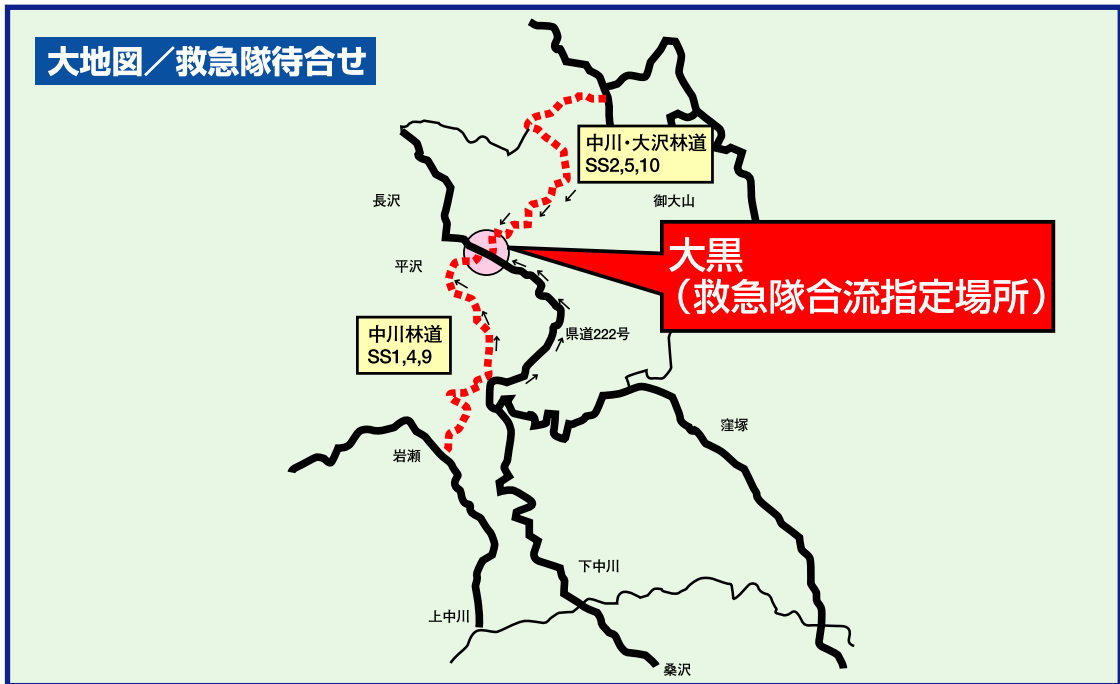


◆ セーフティプラン作成例

救急隊合流地点、連絡系統図



SS1, 4, 9 中川林道 Nakagawa 5.83km



❖ セーフティプラン作成例



# 各SS配置図

**SS2, 6, 10**

## AKAMINE

赤嶺

Leg1 6月11日(土)

|                     | Location          | Name | Radio | Car | Mobile | 配置人数 |
|---------------------|-------------------|------|-------|-----|--------|------|
| Stage Commander     | SS START          |      | CH 1  |     |        |      |
| Sub Stage Commander | Fujita-Champ site |      | CH 1  |     |        |      |

| Post No. | km              | Box No. | Name | Radio  | Car | Mobile | 配置人数 |
|----------|-----------------|---------|------|--------|-----|--------|------|
|          |                 |         |      |        |     |        |      |
|          | Road brock      |         |      | —      |     |        |      |
| —        | TC1,5,9         |         |      | CH 1   |     |        |      |
| 1        | START           | 1       |      | CH 1   |     |        |      |
| 2        | Road brock      | —       |      | —      |     |        |      |
| 3        | Tracking/Safety | 3       |      | CH 4   |     |        |      |
| 4/A      | Tracking        | 4       |      | CH 4   |     |        |      |
| 5/B      | Spectator       |         |      |        |     |        |      |
| 6/C      | Spectator       | 5       |      | —      |     |        |      |
| 7        | Safety          | —       |      | —      |     |        |      |
| 8/D      | Tracking/Safety | 7       |      | CH 4   |     |        |      |
| 9        | Spectator       | —       |      | (CH 1) |     |        |      |
| 10       | F.FINISH        | 8       |      | —      |     |        |      |
| —        | STOP            | 9       |      | CH 1   |     |        |      |
|          | Road brock      | 9       |      | —      |     |        |      |

| Post | FIV/Ambulance | km  | Box No. | Name | Radio | Car | Mobile |
|------|---------------|-----|---------|------|-------|-----|--------|
| 1    | Ambulance-A   | 0.0 | 1       |      | CH 1  |     |        |
| 1    | FIV-A         | 0.0 | 1       |      | CH 1  |     |        |

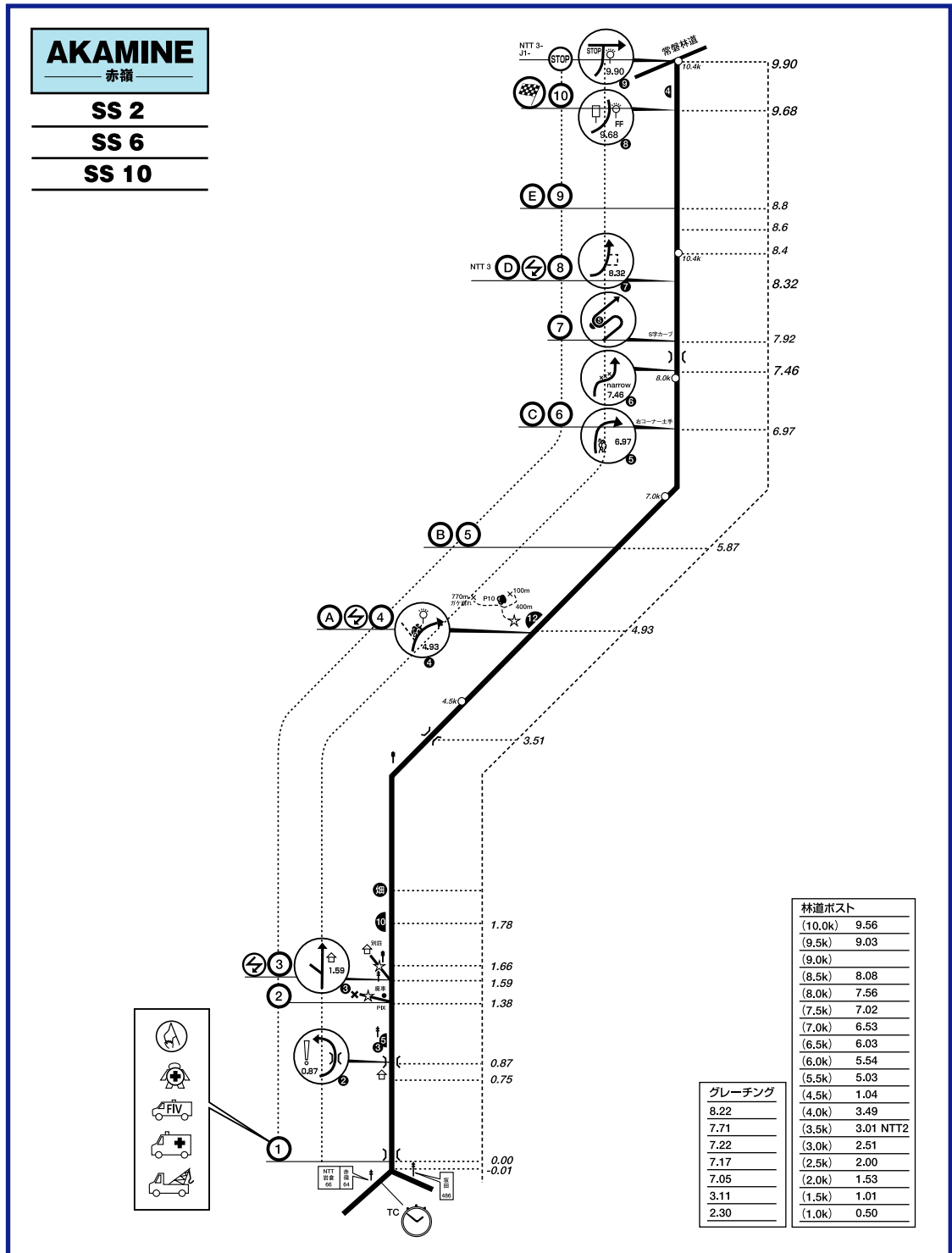
| ITINERARY    |         |           | Radio    | SS 2 | SS 6  | SS 10 |
|--------------|---------|-----------|----------|------|-------|-------|
| ROAD CLOSED  |         |           |          | 5:45 | 9:46  | 13:47 |
| 000car start | Lancer  | Takahashi | CH 1,2,3 | 6:03 | 10:02 | 14:04 |
| 00car        | Impreza | Fujimoto  | CH 1,2,3 | 6:28 | 10:27 | 14:29 |
| 0car         | Impreza | Kamioka   | CH 1,2,3 | 6:35 | 10:34 | 14:36 |
| No.1         |         |           | —        | 6:45 | 10:46 | 14:47 |
| Sweeper-A    |         |           | CH 1,2,3 |      |       |       |
| Sweeper-B    |         |           | CH 1,2,3 |      |       |       |

| EMERGENCY                |              |
|--------------------------|--------------|
| <b>MAJOR INCIDENT</b>    |              |
| Tkabayashi Sogo Hospital |              |
| 高林総合病院                   | 0000-00-0000 |
| <b>MINOR INCIDENT</b>    |              |
| Tkabayashi Sogo Hospital |              |
| 高林総合病院                   | 0000-00-0000 |

| Air Communication | Radio    |
|-------------------|----------|
| Helicopter-A      | CH 1,2,3 |

◆ セーフティプラン作成例

ステージ簡略図



◆ セーフティプラン作成例

● **ギャラリー配置 作成例**



**ICHINOSE**

一ノ瀬

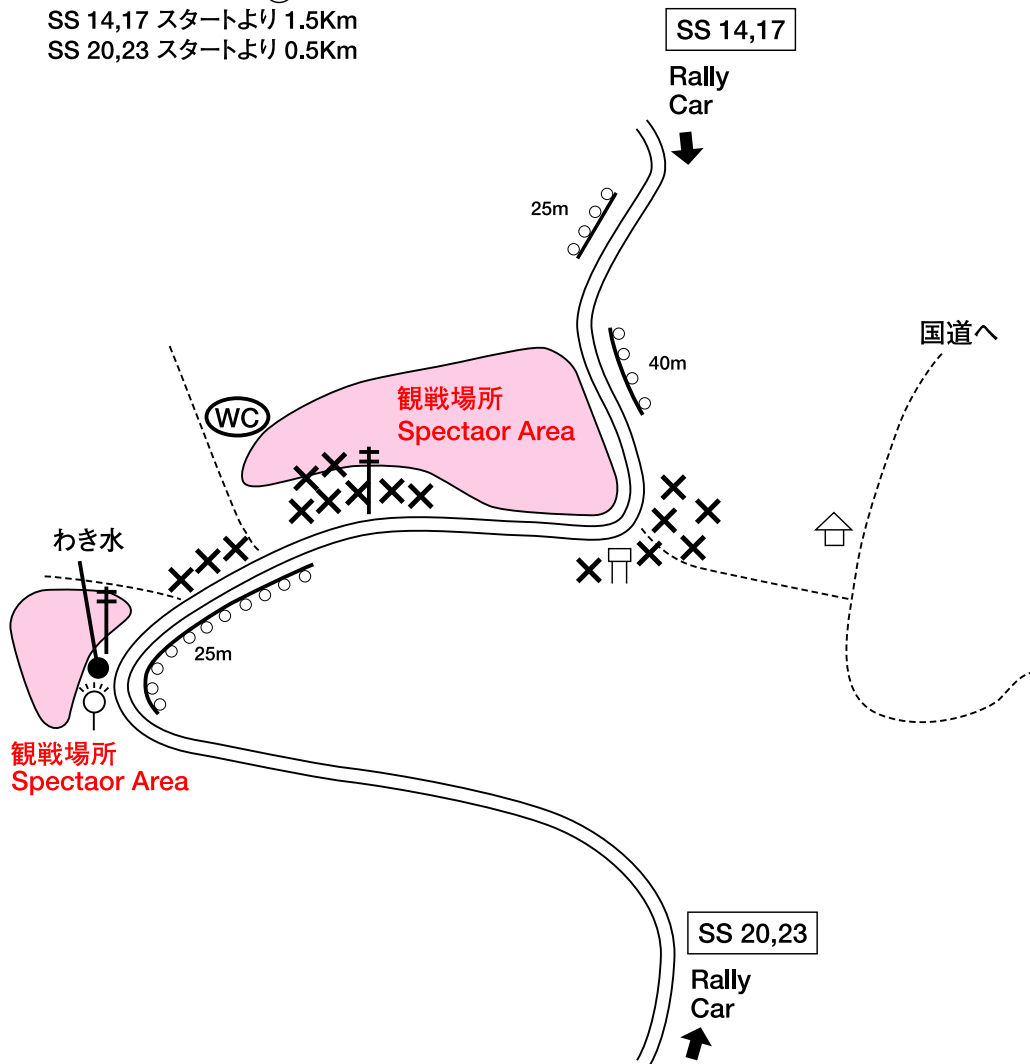
**SS 14**

**SS 17**

**SS 20**

**SS 23**

ギャラリーポイント◎  
 SS 14,17 スタートより 1.5Km  
 SS 20,23 スタートより 0.5Km



## ◆セーフティプラン作成例

# SSでの競技進行マニュアル



## ◆運営のポイント

### POINT 1 連絡システムの確保

すべての基本となるのが無線（有線）は確実にクリアにする。

### POINT 2 SS中のステージ内の状況把握

ステージ内各オフィシャルは、その時刻ステージ内を走行する競技車の台数、走行状況をつねに把握する必要がある。ラジオポイントを有効活用し競技車両の通過確認をして、ステージコマンダーが全体を把握する状況に置く。

### POINT 3 スムーズかつ敏速な捜索・救助活動

異常があった場合は速やかに状況把握に努め、ステージコマンダーが指示をして各スタッフは動く。FIVも有効に活用する。

## ◆運営手引き

### ステージコマンダー

- ・ステージコマンダーは、ストップからの捜索要請を受けスタートから近い順にラジオポイントへ連絡し不通過車両の通過確認を行い、行方不明現場を特定しFIVを捜索へ向かわせる。
- ・捜索時はステージコマンダーの無線をすべてにおいて最優先とする。
- ・基本的にスタート地点にFIVが戻るまでは競技は再開させない。
- ・ステージコマンダーはその状況によりその後の競技再開を指示する。

### FIVドライバー

- ・FIVは不通過車両の捜索を行い、発見した場合クルーの状況によりその後の対応をステージコマンダーに連絡する。

### ドクター・救急スタッフ

- ・ステージコマンダーの指示により出動。状況によりFIVに同乗して出動。

### スタート

スタートした競技車のゼッケン、スタート時刻を記録し、さらにそれをラジオポイントおよびストップに発信する。特に1分間隔が崩れた場合、またゼッケン順になっていない場合は確実に各ポイントに発信する。

### ラジオポイント

1. SS中の競技車の通過確認によって競技がスムーズに進行しているかどうかをチェックする。
2. 事故が発生し、競技者に怪我があった場合に速やかな救助を援助する。
3. 競技車に火災が発生した場合、迅速に消火活動の援護する。
4. SSスタート地点からの無線連絡によりスタートした「カーナンバーとスタート時刻」を通過表に記入する。  
(SSスタートから必ず「何時何分にゼッケン…がスタート」と報告する)
5. その報告された順番通りに来ているか確認しながら目の前を通過した瞬間の時刻(秒まで)を記録する。

## ❖ セーフティプラン作成例

# SSでの競技進行マニュアル



### よりきめ細かな状況把握～トラッキング

SSを0号車がスタートした時間から1分毎にラジオポイントから車両の通過とそのゼッケンを報告し記録係が記録する方法。それをステージコマンダーが把握する、異変があれば速やかに状況把握につとめる。

### ストップポイント

ラジオポイントから不通過車両の報告を受けた場合、その後の競技車のゴール時にドライバーより情報収集を行う。

## ◆ 緊急時の対応

### ストップポイント

OKサインの確認が出来ない場合（例えば完全にコース上から不通過車両が消えている場合）スタートに連絡し、競技中断の上、不通過車両の捜索を行う。この判断はおおよそ3台以上が不通過車両を確認していないときに発令する。

### ラジオポイント

#### **CASE 1** 競技車が3分以上1台も来ないとき→状況把握につとめる。

1. 通過予想時刻に1台も来ないときは速やかにSSスタートへ連絡。
2. 該当の競技車が道を塞いでいることが考えられるので、その後続車が報告に来るまで待機。
3. 得られた情報をステージコマンダーへ連絡。
4. 絶対に逆走（順走）してその地点へ行ってはならない。

#### **CASE 2** 競技車が事故の報告に来たとき

レッドクロスが出された場合、後続の競技車は救助および後続の車両の停止を促す。  
通常2台目の車両がラジオポイントへ行き、状況を説明する。  
報告を受けた内容をスタート地点にいるステージコマンダーに連絡をする。

1. 事故車両のカーナンバー
2. 事故発生場所
3. 怪我、火災などの状況
4. FIVの出動の要請

※ステージコマンダーの指示を待たずに、勝手に119番通報を入れたりしない。

救急の判断はすべてFIVに乗るドクターにより判断され、ステージコマンダーが指示する。

#### **CASE 3** 黄旗を提示（振動）するとき→2次事故を防ぐ。

1. 競技車が道を塞いでいて後続の競技車が通行できない状況になったら、ステージコマンダーが各ラジオポイントへ黄旗を提示するように指示を出す。  
指示を受けたラジオポイントはその指示通りの旗を提示（振動）する。  
！！黄旗→スローダウンして走行
2. その後はステージコマンダーの指示を待つ。



## ◆セーフティプラン作成例

# FIV車両備品リスト



### ◆FIV搭載品(例)

FIVに搭載されるツール類は火災の消火や車両からの救出に必要なツールが最低限の前提になります。通常火災消火の知識とラリーコースを運転できる技術のある2名の人員となります。その2名ともが救出にあたるためさまざまなツールを使用できることと、救急救命講習を受講しており救命措置を行えることが臨まれます。必ずイベント前に多くのパターンでのシュミレーションを行っておく必要があります。また車両に余裕があれば、さらに考えられるツール、機材を搭載できますが、軽微な負傷者を搬送できる余裕はあった方が良いでしょう。

#### 消火機材

- ・消火器 粉末10kg
- ・消火器 5kg
- ・消火器 二酸化炭素式
- ・水タンク20L

#### レスキュー工具

- ・ハンマー
- ・タガネ
- ・鉄板ノコ
- ・ワイヤーロープ
- ・牽引ロープ
- ・ベルトカッター
- ・一般工具
- ・懐中ライト
- ・皮手袋
- ・軍手

#### レスキュー大型機材

- ・展開用コンビネーションツール
- ・油圧切断機
- ・エンジン油圧ポンプ

#### その他

- ・無線機
- ・トランシーバー
- ・作業用ヘルメット

◆ セーフティプラン作成例

# 救急車両推奨備品リスト



| 備品            |                      |    |
|---------------|----------------------|----|
| 緊急用サイレン       | SS内のみ使用              | 1  |
| バトライト         | SS内のみ使用              | 1  |
| ペットボトル(水)     | 1リットル                | 3  |
| 消火、救助用品       |                      |    |
| 消火器           | ABC粉末消火器10型          | 2  |
| バール           |                      | 1  |
| 牽引ロープ         |                      | 1  |
| ロープ           |                      | 1  |
| 診断用具          |                      |    |
| BC-2001-SS    | 聴診器                  | 1  |
| BC-2001-AS    | 血圧計                  | 1  |
| BC-2001-PH    | 打診器                  | 1  |
| 識別連絡用具        |                      |    |
| BC-2010-IC    | 連絡カード                | 9  |
| BC-2010-BP    | ボールペン                | 1  |
| BC-2010-IB    | 識別バンド 3色             | 9  |
| BC-2010-FP    | サインペン 赤・黒            | 各1 |
| BC-2010-MP    | メモ用紙                 | 1  |
| 成人用蘇生器        |                      |    |
| BC-2020-RV-A  | 蘇生用弁 自動制御弁付 成人用      | 1  |
| BC-2020-SB-A  | 蘇生用バッグ シリコン製 成人用     | 1  |
| BC-2020-IV-A  | 吸気用弁 成人用             | 1  |
| BC-2020-TM-AL | シリコンマスク 透明ドーム 成人用 大  | 1  |
| BC-2020-TM-AM | シリコンマスク 透明ドーム 成人用 中  | 1  |
| BC-2020-TM-AS | シリコンマスク 透明ドーム 成人用 小  | 1  |
| BC-2020-AW-AL | エアウェイ 成人用 大          | 1  |
| BC-2020-AW-AM | エアウェイ 成人用 中          | 1  |
| BC-2020-AW-AS | エアウェイ 成人用 小          | 1  |
| BC-2020-TP    | エマジンケース 32×10.5×30cm | 1  |
| 足踏式吸引器        |                      |    |
| 最大吸引圧         | 300[mmHg] (40Kpa)    |    |
| 吸引量           | 毎分25[L] (空気)         |    |
| 重量            | 0.95kg               |    |
| 寸法            | 19×10×17[cm]         |    |
| 気道確保等その他      |                      |    |
| BC-2020-SC-1  | シリコン蛇管               | 1  |
| BC-PCR-22     | コネクター                | 1  |
| BC-7-1        | 酸素チューブ               | 1  |
| BC-2030-SC    | 吸引チューブ 12Fr, 14Fr    | 各1 |
| BC-2040-TC    | 舌圧子                  | 1  |
| BC-2040-MG    | 開口器                  | 1  |
| 救急剪刀          |                      |    |
| BC-2060-ES    | 救急剪刀                 | 1  |

| 気管挿管セット      |                     |    |
|--------------|---------------------|----|
| BC-LB-L      | 喉頭鏡ブレード 電球付 成人用     | 1  |
| BC-LH        | 喉頭鏡ハンドル 電池付         | 1  |
| BC-2040-EC   | 気管内チューブ 成人用 L, M, S | 各1 |
| BC-2040-SC   | カフシリンジ              | 1  |
| BC-2040-BB   | バイトブロック             | 1  |
| BC-2150-ST   | サージカルテープ            | 1  |
| BC-2060-PH   | 止血鉗子                | 1  |
| BC-2060-ES   | 救急剪刀                | 1  |
| BC-2040-SL   | スタイレット              | 1  |
| BC-005M-ET   | 挿管ケース 33×6.5×16[cm] | 1  |
| 外科ホルスターセット   |                     |    |
| BC-2060-MN   | 持針器16[cm]マッチュー      | 1  |
| BC-2060-KH   | コッヘル鉗子14.5[cm]      | 1  |
| BC-2060-PH   | ペアン鉗子14.5[cm]       | 1  |
| BC-2060-SSS  | 直剪刀14[cm]           | 1  |
| BC-2060-DFN  | ピンセット13[cm]無        | 1  |
| BC-2060-PD   | 外科ゾンデ               | 1  |
| BC-2060-SSN  | 針付縫合糸               | 2  |
|              | 外科針シルクブレード          |    |
| BC-2060-SB10 | 替刃メス No.10          | 2  |
| BC-2060-SB11 | 替刃メス No.11          | 2  |
| BC-2060-HB3  | メスホルダー No.3         | 1  |
| BC-2150-SDS  | 滅菌ガーゼ S             | 2  |
| BC-003S-SH   | 外科ホルスター             | 1  |
| 注射輸液セット      |                     |    |
| BC-2060-SG2  | 注射器 2ml             | 2  |
| BC-2060-SG5  | 注射器 5ml             | 2  |
| BC-2060-SG20 | 注射器 20ml            | 2  |
| BC-2060-ND21 | 注射針 21G             | 5  |
| BC-2060-ND23 | 注射針 23G             | 5  |
| BC-2060-TQ   | 駆血帯                 | 1  |
| BC-2060-ID   | 輸液セット               | 2  |
| BC-2060-SD   | 翼付針                 | 2  |
| BC-2060-TI   | 静脈針                 | 2  |
| BC-2010-AC   | アンプルケース             | 1  |
|              | リンゲル 点滴液            | 2  |
| 包帯材料         |                     |    |
| BC-2150-GBM  | 耳付包帯 M              | 2  |
| BC-2150-GBS  | 耳付包帯 S              | 3  |
| BC-2150-EBM  | 弾性包帯 M              | 1  |
| BC-2150-EBS  | 弾性包帯 S              | 1  |
| BC-2140-FB   | 救急絆 50入             | 1  |
| BC-2150-ST05 | サージカルテープ            | 1  |
| BC-2150-ST2  | サージカルテープ            | 1  |
| BC-2150-SDM  | 滅菌ガーゼ M             | 2  |
| BC-2150-SDS  | 滅菌ガーゼ S             | 3  |
| BC-2150-CA   | 綿棒 50入              | 1  |
| BC-2150-GA   | 清浄綿 10入             | 1  |
| BC-2150-CS   | 三角巾                 | 5  |
| BC-2170-TQ   | 止血帯                 | 1  |
| BC-2170-BH   | 止血棒                 | 2  |
| BC-2170-DC   | 傷票                  | 2  |
| BC-2140-RS   | 救急シート               | 2  |
| BC-2140-SG   | 手術手袋 No.7, No.7.5   | 各1 |
| BC-2140-AS   | 副木 L, M             | 各1 |

## 5 JRCAによるサポート

### ① 医療器材の無償貸し出しと救急医の派遣

#### 1 救急医療器材

昨年同様、救急医療器材は2セットの用意があり、無償で貸し出しいたします。ただし、法規上常備できる薬品には制限がありますので、それ以外に必要な薬品類については各主催者様のほうでお手伝いをお願いされている医師の方にご用意していただく必要があります。

#### 2 救急医の派遣

昨年同様、2006年度全日本ラリーについては、紙谷氏のボランティアにより現地に出張していただけることになりましたが、氏の都合のつくイベントのみになります。現地での移動車両、宿泊については主催者様でご用意・ご負担ください。

### ② LSOの活用

- \* JRCAはモータースポーツライフセービング機構 (LSO) のオフィシャルスポンサーとして登録していますので、JRCA会員の皆様は、「JRCA主催」としてLSOによる救急救命講習会を会員価格にて割安で開催・受講していただくことができます。LSOの講習会は、消防署などで行われる講習会に比べ、よりモータースポーツの現場に即したものとなっていますので、安全なラリー運営のために是非とも積極的にご活用ください。

## JRCA事務局の連絡先

ご質問、お問い合わせは下記JRCA事務局へ

**JRCA事務局** 〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内1445-1

TEL. & FAX.046-877-0455

e-mail : info@jrca.gr.jp

<http://www.jrca.gr.jp/>